

幼稚園の職域御奉公

青森幼稚園 今きよ

御依頼を戴きましたので職域御奉公とも相成らばと物しました。

昨年三月某新聞青森版に「私立青森幼稚園は二十六年前から園児に神道教育をして来たが此の指導方法が偶然國民學校の根本精神となる基礎的鍊成と合致し云々と出ました偶然合致の字句が誠に滑稽と存じました。吾國肇國の御精神を辨へたなら戦時も平時も昔も今も不變の方針又國民學校も幼稚園も家庭も一元の下に其方針が建つべきであると信じます。今時局下は敬神尊皇、増産、消費節約、勞力尊重等とさげばれて居ますが、皇國世界無比の皇道精神は悉く一貫したるものと存じます故大東亞戰遂行の教育方針も結局は何時と同じでありますが、末端の方便としては變つて行かねばならぬと存じます

一、皇祖天照大御神様お奉齋

長くも先皇御即位御記念として御奉齋申上げ、御稜威に感謝し、小學校も斯くしてほしいと教育會等にも提案しました、各幼稚園も無論ではありませんが遺憾乍ら其時とはとても問題ではなく一昨年迄も天にまします主の神様の外眞の神はなく凡ては偶像崇拜で野蠻人のすることであると朝禮の際教へて居るのも聞きました、之れは由々しき問題で聞き捨てにならぬつまりパイの卵を養成して居ると同じだと痛感しましたが、自分の立場として之を得ませんでしたが、知らず々に善いこととしてやつて居たことで根本を知らないからでもあると思ひますが、今はそんな方は無いと思ひます、有難いことに過日東京から參觀に來られた保姆さんのお話に國民學校も幼稚園も大神宮様を奉齋しつゝあると承り嬉しい便り、と存じました。

二、増産

一月號に申述べました如く幼児の遊場所を

妨げぬ限り悉く耕作を致しましてお土の御恩を覺らせませす

三、勞力尊重

幼児自身に出來得る身の廻りは勿論大人の手を借らずにさせることゝ大人の手傳をさせる事をも或る程度まで訓練すること（之亦一月號に述べました）

四、消費節約

一物をも無駄せぬやう勿體ないと感謝して使ふ習慣は幼時よりせねばならぬと存じます、そして其れを其生活に利用させる事に就ては保姆として幾分か職域を越したやうの嫌ひも無いわけでもありませんが、保姆も亦皇國の一員宇宙の一細胞である限り世界平和の聖戰の爲めには誰彼の區別もなく氣の付くまゝ、而して自分の外に他に何人も實現して呉れない極めて正當なる御奉仕ありとせば人生の幼時期の基礎教育をなすべき者の大いなる職域奉公としては飽くまでも成し遂げなければならぬと

存じまして

燃料節約

「勝ち抜く爲めには燃料は大なる力、東條首相の仰せ、私は三年前本縣で痛切に木炭の不足をかちました際、「燃料節約と焚火の利用に就て」の意見書を認めまして諸官衙を訪ねました所、最後に經濟警察に認められまして宣傳を依頼され署長さんから感謝状を戴きました、其後も絶えず心がけて居りますものゝ思ふがまゝに實現せず居りました所、今年は國を擧げての燃料云々の聲に黙視し難く再び當局を促がしまして去日帝國發明家展覽會場の一部に市から展示會を命ぜられ五日間懸命に致しました。燃料節約と同時に何故に焚火の奨励をさげぶかと申しますと焚火をせぬ家庭ではどれ程燃料を日に捨てるかと云ふ事を、野山の枯柴、河川海岸に漂ひ來る寄り木等焚火の材料には莫大なること、勝ち抜く爲めの資源啓蒙と老も若きも幼き者も拾ひ集むるの國策に應ずるのであると云ふことを實現さす爲此の問題は全國的に氣がつかず居る人貴重な物資を捨て、顧みぬ向きの數

多あることを痛感し此の舉に出たのであります、次に幼児を通じて整はぬ歌を作り反省を促して居ります。

むかし〜其昔

大神様は岩や戸に

おかくれなされた其時に

眞暗闇みになりました

神々さまはお山から

薪木を集めてたきました

大神様のおよろこび

世界は明るくなりました

面白々面白や

私達も其やうに

木片も拾つて焚きませう

オテンの串もキャンデーの

お箸も捨てずに燃やませう

お火になるから暖かい

お飯もおかずも出來ますよ

お風呂に溫度計と揭示板

市内の風呂屋のお湯の溫度は何時も區々であること、或はお湯の浪費によつて燃料節約の點からも又健康上からも殊に幼児に影響の大きいなること（當地人は特に熱い湯

を好む癖あり）を思ひ之も三年前から提唱して居ましたが、たう〜今春から準備して今回漸く市内各お風呂屋に掲示板を添へて寄贈することが出來ました。斯ることは各人様におすゝめするものではありませんが前にも申述べます通り實現させる方はないので時局下、廣い意味から現在及將來の子供の御國を護る爲めの御奉公と存するのであります。

終りに附言しますことは、自分は幾十年此處に勤續して居ますので何事をなすにも割合に仕易いと曾て申述べましたが、とかく金ですることは金臭いと聞いて居ますが出來得る限り物資の偏重を避けて精神的に邁進し度と存じて居ります。餘り長くなりまして失禮の段御教し下さいませ。

市立静岡幼稚園

金原のぶ

大東亞戦争完遂！ 之こそ國を鬧げて唯一無二の目標です。戦勝完遂上、教育の重要は申すまでもありません。今回政府の重點國策の中に教育の振興が擧げられたのは

當然と言へば當然であり、教育者として嬉しくも亦心強い極みでもあるが、それだけに又重い責任を感じます。私達職奉公の道はこの目標に集注されねばなりません。

戦勝途途、皇國興隆は一にかゝつて皇民にあり、その皇民たるべき負荷の大任を全うせんとする第二皇民の錬成、これこそ夢寐の間にも忘れ得ぬ私達の職域奉公の途行です。

幼き皇國民にひたぶりの皇國魂を培ふことに努めてゐます。大君の「御寶」としての精神皇國魂の錬成です。大君に對する崇敬と皇國に對する憧憬とが渾然と凝つて皇國愛となつて發露し結晶した「皇國魂」、三つ子の魂百までもと根強く培はれ保たれ育たれゆく「皇國魂」、その錬成こそ私達の保育です。

然し念願に比して誠に微力であり、平凡なる日常の經營です。今回は主として朝の集りに關する行事の一端だけについて述べます。

一、毎日の朝禮

◎朝の氣持 大切な朝の氣分。元氣で機嫌のよい裡に幼児なりに緊張した嚴肅感で

整然と整列させます。

◎宮城遙拜 緊張裡の嚴肅感。流石に皇室の有りがたさは幼き者にも感じられます。一樣に頭が下がり、又上がります一時水をうつたやうになります皇國魂が幼児の心に充滿します。

◎祈念 「兵隊さん有難う」と心に誦します。いたいけなひたすらに英靈に感謝を捧げ、傷病兵の平癒を祈り出征兵の武運長久を念じます。

◎日本の子供の歌合唱 日本人としての幸福と希望を昂揚する聲です。元氣で丈夫で伸びて行く皇國幼児の歡喜です。

◎訓話

◎幼児體操 元氣に伸び／＼と四肢五體の律動を波うたせます。

◎正常歩行進 潑刺と正しい姿勢で歩かせます。胸を張る、手を振る、前方を正しく見る。日本を進めて行く心、日本進軍の心を象徴する正常歩、保育への進軍です。

二、特別の日

普通朝禮に國旗掲揚を加へます。すると揚る國旗を追ふ目、追ふ心。屋根を抜いて青空にひらめく國旗につぶらな瞳が集

注されてしんとします。すが／＼しい其の心持で日の丸讃歌を歌ひます。

三、大詔奉戴日

◎訓話 この日は聖諭圖鑑についてお話をいたします。これは教育勅語の御趣旨を徳目毎に繪に示したもので、これを繼續的に一徳目づゝ（繪の一枚づゝ）を平易にお話いたします。聖諭を縦に時局を横に組み合はせて皇國魂を織りなす趣意です。

◎神社參拜 朝禮に續いて全職員全幼児が神社參拜をする、二拜二拍手に心を込めて祈念いたします。

◎宣戰詔書奉讀 この日職員一同は大東亞戰爭の宣戰詔書を一齊に奉讀いたします。聲の揃ひは氣の揃ひです。聲を揃へて同行の心持を保ちながら奉讀します、かくして感激も一入新にして保育打合せ其の他職員會を毎月いたします。

京橋幼稚園 時田そよ

幼児は國防國家の至寶である。やがては健民健兵として巣立つ子供達、世界の隅々にもまでも親まれ敬はれる大國民の育成を此

手この心で爲すを思ふ時、楯は取らねどその擧措の重大に鞭うたれるのであります。

健康 御預りする子供達を先づ健康に。

日光浴と足の鍛錬、皮膚を丈夫にすることは健康保育の要諦でありませう。今までの幼稚園餘りにも室内保育が多すぎはしないか、特に都市幼稚園に於ては、と考へまして一日の中の陽にあたる時間の調査を致して見ました所、四季を通じ男女によつて相違はあるが日向の戀しいこの頃でさへ大體左の様な結果でありました。一週間の連続調査で保育時間五時間、日にあたる時間一時二十分弱です。園庭が狭いと言ふことも理由でせうが、その時間の少いのには私自身驚きました。以來つとめて外氣に觸れる様にと朝の一時時のレコードに併せての正常歩訓練も快晴でさへあれば戸外に出る事にしました。靜かな通りを五十分最長を三十分位として軽い散歩の意味ではあります。が姿勢と速さに重點を置き、口を結んで胸を張つてお友達と肩を並べてと約束をして出かけます。

戸外に出ると周囲の物事に氣を取られ淺然と歩くやうになり勝ですから今日は月島

第一公園まで、今日は相生橋まで等と目的地と距離をよく示し、普通よりはむしろ物足りない位の距離と時間内で整然と歸れる様に心がけます、二列縦隊にて後になる程歩調が亂れ勝ちになるので隊伍はなるべく短かく大低一組単位で出かけます。

更に一週一回の野外保育の實行でありますが、場所は四號埋立地、こゝは子供が家庭にあつても楽しい遊び場であります。こゝでの保育案は鍛錬保育を主とし太陽の下、青草の上で子供の體操、角力、駢足行進等の團體行動、蟲捕り摘草、まゝごと等の自由遊びなどこゝでは上着を脱ぐのが御約束の様に力いっばい遊びます。然し之れが、一週間保育の連鎖である以上過勞にならない様に注意します。何故ならば子供達は自分の意欲のまゝに疲れることを知らずに行動致しますので、少し度を過すと歸る時は非常に疲勞の色が見えます。お辨當前に仰向けに寝せて休ませるとか或は何時よりも早く切り上げて歸す等注意します。今一つは薄着の調査で大人よりも下着一枚多くといふことを標準に家庭にも注意致しますが、野外に出る時は特にその調節に留

意し、目的地に着いた時脱がせ、歸りには着せる等子供自身にやらせませう。

この様な積極的鍛錬をなすにつけても思はれる事は子供の運動量即ち體力、疲勞度をはつきり知り度いことです。之れは専門家に俟たねば分らない事でありませうが、この年齢の子供にこの程度の時間の運動、例へば健歩行進ならば何歳児には何キロまで可能と分かつてゐたら（或は分つてゐるかも知れない）積極的鍛錬も豫定のところまでは思ひ切り實行出来るのではないでせうか。

襪 次に襪でありますが大國民としての態度、おほらかで清らかに強く明るい國民性。上御一人に對し奉り常に敬虔な民の心を今この時機に植ゑ付けたい。かうした氣持ちから生活記録を家庭との協力で實行して居ります。初めは夏休みの生活をきまり良くする爲にと始めたのが、意外の好成績と反響を得まして、日常にも欲しいとの家庭の要求で繼續實行することにしました。襪の項目は御母様方の御希望とその月の強調したい事等取り入れまして毎月少し宛變へて居ります。幼稚園と家庭と交互に見ま

八月	人員一七六名中	出来た人数
一、早起(六時)		二二三
二、はみがき		一一〇
三、宮城遙拜		一一一
四、ラジオ聴操		一〇六
五、喧嘩をしないで遊びませう		九七
六、いたゞく前の手洗ひ		一一〇八
七、おやつは一度だけ		一一八
八、何時にねましたか		八一
九、お通じはありましたか(何回)		八三
十月		
一、蘭磨		二二三
二、神様佛様を拜ませう		一一〇
三、お返事をハツキリませう		一一一
四、おやつは一度だけ		一〇六
五、喧嘩をしないで遊びませう		九七
六、ちよつとした事に泣かないで		一一〇八
七、いたゞく前の手洗		一一八
八、後仕末を忘れずに		八一
九、御家の手傳が出来ましたか		八三

すので、子供達は之を同覽板と言つて居ります。

記録項目と實踐統計を並べて見ませう。

八月はおやつと喧嘩が殆んど實行出来なかつたやうです。永い夏の一日おやつの一度は無理もない事と思ひますが。九月から一日の記録を家庭では全部を記入し、幼稚園ではその一部を記します。十月の例を取りますとお返事ははつきりませう。喧嘩をしないこと、ちよつとした事に泣かないで、後仕末を忘れずに、この四項目はお歸り前の出缺調と同時に子供達の嚴肅な批判の下に各自に記入させます。之を家庭に

持ち歸り全項目を記入して翌日持參致します。

大變に忙はしい家庭でも、保育に協力の意味で、形式的でなくまめに記入して下さい。子供達も泣き度い所をつい我慢する、喧嘩になる所も思ひ出して止してしまふ、等好結果を得る様であります。總べて躰事は永く實行しないと効果がありませんし、又長く行つてゐますと兎角形式的になつて初期の目的に副はないものとなり勝ちです。時々同覽板の形式や體裁を新にし、項目の内容はお母様の御希望を取り入れる時非常によいものが得られる様であ

ります。さ、やかな實行が積つて、何時の日にかお役に立つ時であらうかと楽しんで居ります。

人皆が何等かの意味で歴史の何ものかを分ち持つこの秋にあたり、洋々たる日本の未來を雙肩に擔つて幼児の保育に御泰公の誠を致す私達保育者の幸こそ無上とや言ふべきであります。

お願い

お蔭様で本誌も四十三の年を加へることになりました。幼児教育の雜誌としての職責を充分果し度いと念願してゐるのですけど、なか／＼意に任せず思ふやうな雜誌にならず、皆様にお申譯ないで存じて居ります。さうぞ皆様、來年も舊に倍して御叱責と御鞭撻を御願ひ致します。そしてよりよい皆様の雜誌に御はぐくみ下さいますやう、御願ひ申上げます。

(編輯係り)